

第24回教育研究全国大会（岐阜大会） 植田宏和全日教連委員長挨拶
（教研大会冊子掲載文）

太平と学問、そして飛山濃水の地、自然に恵まれた岐阜県岐阜市において、多数のご来賓のご臨席を賜り、全国から研究意欲あふれる会員の皆様が相集い、さらには台湾からの先生方をお迎えして、第24回全日本教職員連盟教育研究全国大会を開催できますことは、誠に意義深く大きな喜びとするところです。

昨今の日本では、「正直者が損をする」と言わんばかりの様々な偽装犯罪や詐欺犯罪、目を覆いたくなるような凶悪な犯罪等が多発しています。社会全体において、モラルの低下や倫理観の欠如に起因すると思われる問題が社会全体を揺るがしています。そして大人の問題のみならず、これらを映すように青少年の犯罪も複雑化しています。学校においても、いじめやいじめを原因とした自殺の増加等が大きな問題となっています。このような問題が起こるようになった原因を究明するとともに、これらの課題を解決していくためには、今の日本に何が必要かという根っこの部分を考え実践していく必要があります。

スポーツ選手には、個性豊かなプレースタイルで観客を魅了する選手が多数います。これらの選手は、土台となるべき基本スタイルをまず身につけています。そして、日々の努力の中で自己の特徴を把握し、体力アップを図り、個性的なスタイルを確立し現在一流といわれる選手になっています。始めから基本を持たない個性的なスタイルではなかったはずで、今の日本において国創りの土台となるべき基本は教育であり、安倍首相が目指す「美しい国創り」の基本である教育という土台をしっかりとしたものにしなければ、日本の未来は開けません。家庭、学校、地域の連携によって為される教育の中で、学校教育が中心的な役割を果たすことは言うまでもなく、日々の教育にあたる教職員の実践力の向上が教育の質を高めることも明白です。そして、教職員自身は、自分を律し自己の人格の完成に努力していくことが、国民からの尊敬と信頼を得ることになり、教育の質を高めることに繋がります。

私たち全日教連会員は、「美しい日本人の心の育成」という共通理念のもと、子供たちの健やかな成長を念願し、高い専門性に基づく指導技術によって日々の教育に取り組んできました。教育専門職として、「人創り」の中心となる心の育成に目を向け、いかに質の高い教育を為しえるかを念頭に実践を重ねて参りました。私たち教職員がどのような姿勢で教育に取り組むかによって、日本の未来が決まると言っても過言ではありません。

私たちは、教職員としての品位と英知を保ち、教育正常化団体として結成以来の原点を守り、毎年、教育研究全国大会を開催し、今回24回目を迎えました。本年度は「生きる力を育てる質の高い教育の創造—子供の心を育み、学ぶ意欲を高める教育実践を目指して—」を大会主題とし、7つの分科会を設けました。子供たちの心を育み、子供たちの学ぶ意欲を高めることに重点をおいた実践報告をもとに、この2日間の教育研究大会では、国民に尊敬され信頼される質の高い教育の在り方を追究してまいります。会員の皆様におかれましては、それぞれの参加分科会において真摯な議論にご参加いただき、各地に全日教連の「美しい日本人の心の育成」という理念が滲み入ることを願っております。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり、ご支援・ご協力を賜りました岐阜県学校職員組合の皆様をはじめ、岐阜県ならびに地元の関係機関の皆様に対し、心から感謝を申し上げ、挨拶といたします。